



やしろ

矢代小学校だより
平成24年度 第5号
10月4日

6,500km離れた心がつながった

秋らしい青空のもと、今年も5年生が稲刈りをしました。しかし、今年の稲刈りは、特別な体験が待っていました。なんと日本を旅行中のハワイの皆さんとの共同作業だったのです。しかも、全員日系人（主に三世）でした。したがって外見は普通の日本人ですが日本語は通じず、英語で話すしかありません。

ハワイの日系人の皆さんと一緒に稲刈りをするのを聞いた子供たちは、さっそく準備を始めました。今までの活動を英語で説明する原稿を書いたり、月ごとに稲が成長する様子を写真でまとめたりして、当日に臨みました。



頭に「必勝」「日本」「合格」と書かれた日の丸の鉢巻きをしている姿にびっくりしながら英語で説明しました。僕の英語が伝わったかな。



稲作体験の場を提供してくださっている両善寺の小島さんから提案があり、このような交流が実現しました。ありがとうございます。新井小学校へ引き継ぎたい活動の1つです。



最初は戸惑っていた子どもたちも、一緒に稲刈りや「はさがけ」をするうちに、いつの間にか距離がちぢまっていました。ハワイの皆さんにとって、稲刈りは自分の祖先が何百年も続けてきた作業であり、五感を通して何かしら感じられたのではないのでしょうか。遠く離れて生活するハワイの皆さんと子どもたちの心がつながったひとコマでした。